

ひびくする環境問題、生活者の側からどう捉え、どう考え、どう実行に移すかが問われています。会員を募集しています。問い合わせ、申し込みは左記連絡会まで。

環境と共生



第5号

平成13年6月1日発行 発行：環境21世紀の会 編集：総務会 石村親郎 印刷所：〒277 0042 柏市蓮井4-9-5 TEL: 0471-74-2135 FAX: 0471-69-4016

環境21世紀の会の事業

各種調査研究、政策の提言、行政への請願・各種申し入れ、広報活動及び講演会の実施、共通する他団体との協調・連携——を事業とし、環境との共生を考え、活動しているボランティア団体です。

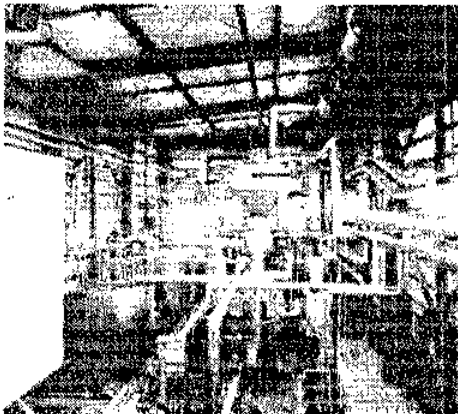
飼料として事業化実現

札幌市の生ごみ 日量50トンを再資源化する

札幌市では、事業系一般廃棄物の約4割を占める生ごみに着目し、食品廃棄物についてもリサイクルの事業化に向けて水分調整材の選定、発生量調査等を開始しました。新たなリサイクル技術を用いた「飼料化」という方式による民間ベースでの事業化が実現化し、札幌市としても積極的に支援しています。

この方式は、油温減圧で平成10年1月、生ごみ業が圧倒的に多く、全量脱水方式（通称「二天ぶら」）のリサイクルがスタートの64%を占めており、この方式と、いわゆる「生ごみ」の15%が継続しています。

ラント建設場所の提供、生ごみ収集運搬に関する協力をするとともに調整等の具体的な支援を行い、処分量の許可を与える形



札幌生ごみリサイクルセンター

柏市の清掃工場規模

計画通りの認定に疑念

平成13年度廃棄物処理施設整備費内示内訳が、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課より4月初めに公表されました。

柏市の第2清掃工場の規模は250トン/日で、工期は平成13~16年度に

数年前から家庭菜園を始めた。生ごみは、EMボカシを主体にして落ち葉や枯草などを肥料として使っています。EMボカシは、二液で消毒している。今、畑にはモグラ、ミズや蝶の幼虫などが生ごみから出る廃液を肥料として使っています。廃液は何倍かに薄めて使すと、花は色も鮮やかで白もちも良い。多量の臭いは1時間くらい我慢すると消える。無農薬野菜を目指し、食べられることが一番。



わたしの庭

3月末開催の柏市清掃協議会では、完成後7年後で計算すると設備規模は210トン/日になるとされており、国の補助金対象額は2100万と、市の単独予算分が40%、合計で2500万/日になるとのことです。計画通りの認定に疑念を抱かざるを得ません。

庭の敷せ土が気になる。台所のゴミを庭に埋め始めた頃、コンポストというものがなかった。それから、生ごみを堆肥化するためコンポストを使い始めた。2つの点でうまくいかなかった。一つは夏場の害虫発生であり、あと一つは堆肥の仕上がりが良くないことだった。コンポストとは小バエ発生装置のごとく、蓋を開けるとワッと飛び出してくる。たまたま来ていた姉に、「近所迷惑だから止めなさい」と言われた。近所迷惑なだけではないので、虫退治はタライの上手な使い方を説明してもらった。その後、いろいろ調べてみると、蓋は密閉せずに通風をよくして、

廃棄物のリサイクル

ローソン、700店舗で実施

資源化業者で分別（分別）して回収。このうち、神奈川地区の再資源化委託先は、廃棄物中間処理費用に利用します。

給食を肥料に生徒と教師が協力

平成6~8年から東京都北区小中学校4校では、生ごみ処理機を使用して生ごみのリサイクルを実施してきまいた。

我が家のゴミ減重大作戦

再資源化歴16年 無理せず自分に合った方法で

使用している。その結果、害虫発生がだいぶ減少した。コンポストには生ごみだけでなく、草、落ち葉、土を腐らせるように投入している。今は、EMバケツ（生ごみをためる密閉式ポリバケツ）底がスノコで水が切れる構造。2個を使い、1週間間に1回1個ずつコンポストに投入している。米ぬかを入れると発酵が良くなり、生ごみの異常な腐敗が起これば、1週間ほどおける。このような方法で、生ごみを再資源化して16年目を迎えている。あまり無理せず、自分にあった方法で実行していくのが長続きのコツだと思っています。（南逆井・塚田祥恵）

役員重任、定例会会員の参加期行
平成13年度総会が5月12日（土）に開催されました。役員は再選され、会長は三上隆司、副会長は加藤隆二、鹿毛剛、総務会長は有村親雄、事務局兼書記は藤幸子、会計は今宮三子、会計監査は中村光雄（敬称略）です。定例会を毎月第1日曜日の13:00から開催しています。場所は、柏葉園ふるさと会館（逆井）です。役員だけでなく、会員の参加もお待ちしております。

柏市南部のダイオキシン類は全国の中でも最悪

柏市は、平成12年10月に実施した大気中のダイオキシン類と平成12年11月に実施した松葉のダイオキシン類調査結果がまとまり、平成13年3月9日に公表した。

表1から分かるように、大気中のダイオキシン類の濃度調査結果では、10月28～29日と前日の10月26～27日の2日間の結果だけみても2～4倍の差があり、測定日の条件によって大きなバラツキがある。

表1 大気中のダイオキシン類調査結果 単位：pg-TEQ/m³

調査場所	平成12年測定値			
	10/26 ～27	10/28 ～29	10/30 ～31	平均
増尾西小字校	0.050	0.20	0.14	0.13
第四水源池		0.30	0.23	0.27
建設予定地	0.099	0.31	0.15	0.19
南部運動場	0.094	0.37	0.19	0.22
逆井宮田島運動場	0.078	0.30	0.20	0.19
酒井根小学校	0.092	0.26	0.17	0.17
船戸清屋工場	0.13	0.27	0.16	0.19
富勢西小字校	0.12	0.34	0.17	0.21

注：コプラナーPCBを含む。毒性等価係数はWHO-TEF (1998)

表2より明らかなように、松葉のダイオキシン類の平成12年と平成11年（生活クラブ生協連合会が調査した結果）を併せてみると、柏南部地区は、隣接の沼南を含め全国の中でも最も悪い汚染地域であることが分かった。特に南逆井、酒井根エリア及び沼南では0pg-TEQ/gを大きく上回っており、大気中のダイオキシン類濃度に換算すると環境基準値である0.6pg-TEQ/m³を超えている可能性もある。

ダイオキシン類測定値の信頼性

ダイオキシン類濃度の測定はいろんな問題点がある。それは誰が主体で測定をするかにより決まる。行政の場合、土壌、大気、食品、血液、母乳の安全宣言に使われる。市民団体が測定依頼した測定値。大学などの研究機関が測定したデータ。これらが食い違う例が後を絶たない。

大気環境中ダイオキシン類測定の問題点として、年数回（1回24～48時間）の大気測定で実態把握できるのか。柏市の結果でも、2～4倍もバラツキがあった。大気中ダイオキシン類濃度は、気象条件（風速、風向、日射量、雲量、湿度、温度、降雨など）や排出条件（焼却量、燃焼温度、燃焼管理状況、焼却

表2 松葉のダイオキシン類の調査結果 単位：pg-TEQ/g

調査エリア	調査の場所	平成12年	平成11年の結果
		の結果	(コプラナーPCB含まず)
柏南部	南逆井	7.72	沼南(南部) 8.02
	酒井根	6.39	沼南(北部) 7.82
	南増尾	5.66	
	藤心	4.20	参考(n=190)
	逆井	3.70	全国最高値 8.02
	増尾	3.43	全国平均値 2.79
柏北部	最終処分場	5.14	県平均値 4.48
	船戸清屋工場	4.57	柏(北部) 4.32
			柏(松葉町) 3.22

廃棄物の組成)、さらに地形（起伏、建築物など）により変動は極めて大きいと指摘されている。

厚木米海軍基地近傍の産業廃棄物から出るダイオキシン類の問題に関連し、日米両政府が共同して1999年夏に1日単位で56日連続調査をした。大気中のダイオキシン類の濃度は日により100倍以上も著しく変化した。

サンプリングの際のポリウレタンフォーム(PUF)の性能に大きなバラツキがあるとの指摘もある。サンプリング回収率の報告は義務づけられていないため、大気中ダイオキシンの回収がきちんと行われているか確認ができていない。

ダイオキシン測定におけるサンプル濃縮工程で、窒素ガスの吹き付けが行われていたが、この窒素ガスの吹き付けで溶媒だけでなく、ダイオキシンも揮発飛散することが分かった。20分間の吹き付けで当初の4割しか残らなかった。また、温度の影響も大きく、60℃以上で吹き付けを行うと、4.4%しか残らなかった。また、20℃の条件下、ろ紙上に2時間放置しただけで、100pgのTCDD異性体ダイオキシンが8～20%になり、極めて揮散しやすいことが分かった。

松葉調査の目的は、人々が生活する地域の平均的、長期的なダイオキシン類の汚染状況を客観的に捉えることができる。松葉は従来より大気中の大気汚染、重金属類等の測定分析の環境指標として活用されてきた。クロマツが大気中に存在するガス状、粒子状のダイオキシン類の呼吸を通じて生物の組織内に長期にわたり蓄積することに注目している。クロマツの新葉から6ヵ月以降の針葉を試料に用いる。

編集後記

★前号に引き続き食品廃棄物のリサイクル例を紹介した。札幌市の場合、食品廃棄物の堆肥化でなく、更に付加価値の高い飼料として再資源化されている。大都市180万人をかかえる札幌市の実行力に敬意を表したい。

★大気中ダイオキシン類の測定値の信頼性に関して、いろいろ問題点がありその一部を紹介した。松葉中のダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法でも市民権を得ていないが、大気中よりも非常にバラツキが少なく信頼がおけるものである。行政は、「国民がJIS規格制定や法律の改正まで待ってられない」ことを受けとめてもらいたい。

T・K